

はじめに

これから家を建てようと思っている人やリフォームを考えている人の中には、「家相」が気になっている人もいるのではないだろうか。

一口に家相といっても、その流派もさまざまで、吉凶を判断する方法も異なります。また、占いと混同されることが多く、結果に一喜一憂しているケースも見られます。

家相は歴史ある学問のひとつで、住宅環境学としての側面も持ち合わせています。家相で気を配らなくてはならないとされる「鬼門」や「裏鬼門」などもまた、自然の恩恵や先人の知恵から生まれたものであり、現代の住まいづくりに十分に応用できるものです。

この冊子では、家相の基本と家相を生かした間取りのポイントなどをお伝えしていきます。健康で快適な住まいづくりのために、ぜひお役立てください。

INDEX

第1章 家相とは？	1 ▶ 4
・ 家相のルーツ	
・ 家相は非科学的なもの？	
・ 環境に合わせて変化する家相	
・ 風水との違い	
・ 家を建てる時期と方角	
第2章 家相の基本となる「方位盤」	5 ▶ 6
・ 方位盤とは？	
・ 方位盤の使い方	
第3章 「表鬼門」と「裏鬼門」	7 ▶ 8
・ 表鬼門、裏鬼門の由来	
・ 吉相の家をつくるポイント	
第4章 家の「間取り」がある？	9 ▶ 10
・ 「表鬼門」や「裏鬼門」のある家	
・ 間取りの工夫を家相から考える	
第5章 家相からみた間取りのポイント	11 ▶ 18
・ 玄関は東南であるべき？	
・ 階段は家内安全のカギとなる場所	
・ 家相学上でも重要なキッチン	
・ トイレは常に清潔に	
・ 健康に配慮した浴室を	
・ 自由に配置ができる部屋	
・ 快適で暮らしやすい間取りを	
・ 気になる間取りのQ&A	
第6章 土地の形や道路との関係	19 ▶ 20
・ 吉相の家づくりは土地選びから	

01 家相とは？

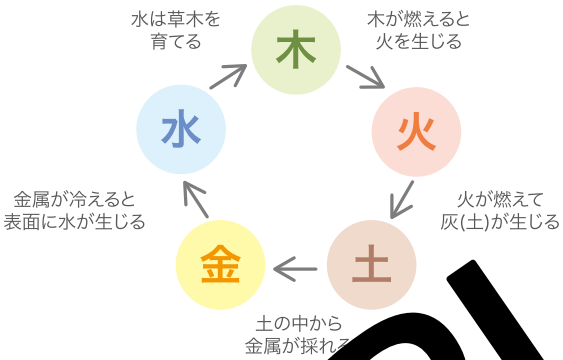
家相のルーツ

家相とは家の方位や間取りなどから、そこに住む人の吉凶を判断するものです。奈良時代に中国から伝わったとされていて、一説には「陰陽五行思想」の源とされています。ちなみに陰陽五行思想とは、万物はすべて天と地、明と暗といった2つの相対するものから成り立つという思想(陰陽)と、木・火・土・金・水の5つの要素が互いに影響しあい、循環することによってさまざまな現象を引き起こすという考え方(五行)を組み合わせた理論のことです。

陰陽の例

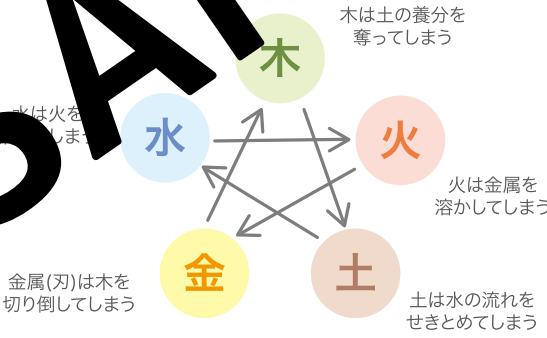
陰	陽
月	太陽
裏	表
偶数	奇数
雨	晴
北	南
闇	光
夜	昼
冬	夏
女性	男性
静	動
植物	動物

五行では、万物は木・火・土・金・水の5つの要素から成り立ち、互いに「相生(そうせい／そうじょう)」「相剋(そうこく)」という関係にあるとされています。



相生

ある要素がほかの要素を育み出し、循環しながら相手を助け、育てる関係のこと。相性のよい関係です。この図では、隣り合う要素が相生の関係にあたります。



相剋

ある要素がほかの要素を打ち消したり、抑制したりする関係のこと。相性がよくない関係です。この図では、一つ離れたところにある要素との関係が相剋です。

家相は非科学的なもの？

“家相学”は陰陽五行思想から派生したものであり、その歴史は3,000～4,000年ともいわれています。季節の移り変わりや温度の変化、光や風といった大きな自然の力とどのように共生していくのか、また、その中で快適に暮らしていくためにはどうしたらよいのかを知るための学問です。先人が自然と向き合う中で身につけた暮らしと住まいの知恵は、現在の家づくりにも役立つことは、家相学は時代を超えた家づくりの参考書といえるかもしれません。

環境に合わせて変化する家相

時に迷信といわれることも家相。実際は商品合わせのような言い伝えが存在していることも多々あります。また、家相学の長い歴史の中では、暮らしや技術の進化にともなって住居事情も変わっていることから、家相の解釈や取り入れ方も変化が生まれています。

家相は家の間取りや間取りなどで吉凶を判断するものですが、住む人が心地よいと感じられなくては意味がありません。たとえば「気の通りが良い、悪い」などといわれることがありますが、人はその場の空気や雰囲気から、心が休まる場所とそうでない場所とを感じ取ることができます。これは部屋の明るさ、温度や臭い、色や音などが五感を刺激し、体や感情に変化を与えるためといわれます。つまり、家相や住環境が整わない場合であっても、部屋を清潔に保ったり、光や風を取り入れたりすることによって、快適な空間をつくり出すことが可能なのです。

風水との違い

家相と比較されることが多いのが風水です。実は、この2つのルーツはほぼ同じといわれ、家相が間取りや方位を重視するのに対して、風水は山や川、平野といった土地の配置、地脈など、周囲の環境をもとに判断するものとされています。いずれも日本独自の変化を遂げていますが、最近人気の風水は“インテリア風水”などと呼ばれ、より現代風にアレンジされたものが多くなっています。



家を建てる時期と方角

「家を建てる時期」といって、引っ越しをするのに最適な方角や時期など悩んでいる人、多いのではないでしょうか。結論からいえば、それほど気にすることはありません。ただし、家づくりには普段以上に気力や体力が必要になります。ストレスによって心身に影響をおよぼすこともあるため、気持ちにもスケジュールにもゆとりを持つことが大切です。

